

「大東文化」新聞 第546号（2003年7月15日号） あの人このひと

「フルートの魅力を披露」

2003年5月17日、東松山キャンパスのエクステンション講座「音楽の玉手箱」で江田亮太さんが、フルートの魅力を披露した。

江田さんは現在ドイツ・ハンブルクに在住し、著名なジャン・ピエール・ランパル氏の指導を受けたこともある。

本学教育学科を97年に卒業後、上越教育大学大学院教育研究科に進む。卒業後、ヤマハPMSフルート科講師を経て、00年にハンブルク音楽院研修科へ留学。今年2月に修了した。

この間、国内では第2回KOBE国際音楽コンクール（00年1月）奨励賞。国外でパリU・F・A・M国際音楽コンクール（01年3月）などに入賞した。

高校2年生でフルート奏者を目指したという江田さんは、本学に入学後、管弦楽団に入部しようとしたところ、フルートは間に合っているといわれた。以来、独自に、朝早くから構内や音楽室で、時間を惜しみ練習。在住地の墨田区の市民オーケストラに所属し、演奏した。4年生の時、第2回宮日音楽コンクールで最優秀賞となる。そんな江田さんを援助したのが、教育学科の匂坂恭子元教授や宍倉洋教授。卒業論文は、「フルートについて」にしてもらったという。

オペラが好きで歌劇場のオーケストラにあこがれ、ドイツ留学を決めた。現在も週2、3回は歌劇場やコンサートに足を運ぶとい}つ。この日は、J・S・バッハの「フルートソナタ・ト短調」、ドボルザーク「ソナチネ」ほか3曲を演奏。受講者は目をつむって、優しい音色に聴き入っていた。

5月25日には、同音楽院講師のマティアス・ペール（元ベルリンフィルオーケストラ奏者）と同仁キリスト教会（護国寺）でジョイントコンサートを行った。東京都立小山台高校出身、29歳。